

令和元年度 第1回兵庫県スポーツ推進審議会

と き : 令和元年10月17日(木) 10:00~12:00
と ころ : 兵庫県民会館 「1202 会議室」

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 委員・幹事紹介
- 4 署名委員の指名
- 5 前回議事録の報告
- 6 報告事項
 - (1) 令和元年度の事業概要について
 - ① スポーツ振興課
 - ② 体育保健課
 - ③ ユニバーサル推進課
 - (2) 「兵庫県スポーツ推進計画」の平成30年度の進捗状況について
- 7 審議事項
「地域スポーツの今後の活性化」について
- 8 閉会

令和元年度の事業概要について

1 スポーツ振興課

○ 「スポーツ立県ひょうご」の実現

全ての県民がスポーツを通じて楽しさや感動を分かち合い、共に支え合う兵庫のスポーツ文化を確立することにより、一人ひとりが健康で、いきいきと暮らす社会「スポーツ立県ひょうご」の実現を目指す。

1 生涯スポーツの推進

地域におけるスポーツ活動を活性化し、誰もが参加できる生涯スポーツ大会や「スポーツクラブ 21 ひょうご」の充実及びスポーツ実施者の更なる増加を図るとともに、県民の自主的・自発的なスポーツ活動に係る諸条件の整備・支援に努め、生涯スポーツを推進する。

(1) 「関西マスターズスポーツフェスティバル」開催事業 (7,487 千円)

「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」開催に向け、生涯スポーツのすそ野を広げるため、ひょうご生涯スポーツ大会の大会数を増やすなど、広く県民にスポーツの楽しさや喜びを体験したり実践したりする場を提供することにより、生涯を通じてスポーツに親しみ、健康で豊かな生活の実現に資する。

① 総合開会式の実施

- 開催日：令和元年5月25日(土)
- 場所：ブルボンビーンズドーム

② 競技別大会の開催

- 実施時期：平成31年4月～令和2年3月
- 場所：県立三木総合防災公園ほか県内各地で開催
- 競技：グラウンド・ゴルフ等 計51競技76大会

③ 「ひょうご de スポーツ推進月間」の展開

- 街頭キャンペーンの実施
実施時期：令和元年10月1日(火)
場所：県下10箇所
- スポーツ推進フォーラムの開催
開催日：令和元年10月20日(日)
場所：洲本市文化体育館

④ 生涯スポーツ指導者等の充実

- 生涯スポーツ指導者地区別研究会
実施時期：令和元年5月～12月
対象者：スポーツ推進委員、スポーツクラブ21ひょうご関係者等
- スポーツ推進委員中央研究協議会
開催日：令和元年10月20日(日)
場所：洲本市文化体育館

(2) 兵庫県スポーツ推進審議会 (276 千円)

県民のスポーツ振興に関する重要事項について調査審議する。

実施時期：令和元年10月17日(木)

令和2年2月または3月(予定)

(3) 「スポーツ立県ひょうご」創出プロジェクト事業 (2,925 千円)

生涯スポーツの核となる「スポーツクラブ21ひょうご」について、全県スポーツ大会等を通じてクラブの連携を促進するとともに、活動の活性化等を図るなど自主自立に向けた取組を支援する。

① 推進会議の開催

○ 内 容 クラブの現状及び課題解決に向けた協議

② 全県スポーツサミットの開催

○ 対 象 スポーツクラブ代表者、スポーツ推進委員、企業・大学関係者 等

○ 内 容 情報交換、事例発表 等

③ 「スポーツ立県ひょうご」創出プロジェクト

だれもが生涯にわたってスポーツを楽しむことができる環境づくりに向け、各地区において「スポーツクラブ21ひょうご」が取り組む。

○ 大学や企業と連携したスポーツイベント等の開催

○ 障害者スポーツと連携したスポーツ教室等の開催

○ 親子で行うスポーツ大会やスポーツフェスティバル等の開催

(4) ひょうご・ロシアハバロフスク青少年スポーツ交流事業 (2,190 千円)

友好提携40周年を機に、兵庫県とハバロフスク地方とのスポーツ交流を行うことにより、両県交流の更なる発展を図る。

交流期間：令和元年8月6日(火)～11日(日) (5泊6日)

内 容：スポーツを通じた国際交流、ロシア文化体験 等

(5) 兵庫県山の遭難対策協議会 (1,005 千円)

① 山の遭難の未然防止および救援対策を協議する。

実施時期：令和元年6月12日(水)、11月20日(水)

② 姫路市、養父市、香美町などの救助対策本部並びに兵庫県山岳連盟に対し、山岳遭難救助器具購入費の補助を行う。

(6) 【拡】「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の開催準備 (74,148千円)

2021年の開催に向け、組織委員会、実行委員会、開催市町等と連携して、具体的な準備・運営に取り組む。

①開催2年前イベント及び兵庫県開催競技リハーサル大会の実施

〈開催2年前イベント〉

ワールドマスターズゲームズ2021関西大会の知名度向上と機運醸成のため、大会開催2年前となる2019(令和元)年5月に開催2年前イベントを開催

・内容 一般県民を対象に関西大会の兵庫県開催競技のスポーツ体験会を実施

・会場 明石公園陸上競技場(きしろスタジアム)

〈リハーサル大会〉

兵庫県開催競技団体と開催市町における国際大会としての運営ノウハウの取得及び海外選手へのPRを目的に、ペナン大会への参加等で構築したネットワークを活用し、海外選手を招聘したリハーサル大会を開催

- ・実施市町 17市町
- ・開催種目 25種目（公式競技：15種目、オープン競技：10種目）

〈県外参加者の参加者促進〉

兵庫県開催競技の各競技団体から、それぞれの中央競技団体に対して大会のPRを依頼し、本県開催競技への全国からの参加を促進

〈PRイベント〉

兵庫県開催の各市町における大会知名度向上と機運醸成のため、市町ごとにPRイベントを開催

②オープン競技メダルデザイン公募

兵庫県開催のオープン競技に係るメダルデザインを県内の高校生から公募

③ボランティア配置計画等策定

大会運営に必要な本県のボランティアの募集に向け、ボランティア配置計画や、総合実施計画を策定

④ヨーロッパマスターズゲームズ2019トリノ大会視察及びPR活動

マスターズゲームズの本場である、ヨーロッパマスターズゲームズの大会運営や競技運営のノウハウを取得するとともに、ヨーロッパからの選手の獲得を目指すため、ワールドマスターズゲームズ2021関西大会のPRを実施

- ・期間 2019(令和元)年7月26～31日

⑤広報

のぼりの掲示やホームページ等による大会広報

⑥ ひょうご女性スポーツの会の活動の支援

WMG2021 関西への参加を促進し、女性のスポーツ環境の向上、女性スポーツ人口の増加を目指し、ひょうご女性スポーツの会の活動を支援

○ 総会・総合開会式の開催

開催日：令和元年6月8日

内 容：記念講演「滑り続けることで見えてきたこと」

スポーツコメンテーター 八木沼 純子

基調講演「競技生活を終えて今」

エグゼクティブ・アドバイザー 小林 祐梨子

○ 競技別大会の実施

開催日：令和元年4月～令和2年2月

内 容：各競技団体による冠称大会への補助

○ 研修会の実施

開催日：第1回 令和元年8月24日(ドラゴンボート)

第2回 令和元年11月23日(オリエンテーリング)

⑦ ワールドマスターズゲームズ2021関西参加促進事業

ワールドマスターズゲームズ2021関西大会への県民参加促進のため、地域企業及び大学とスポーツクラブ21ひょうご（SC21）との連携チーム設立支援やワールドマスターズゲームズ2021関西大会開催競技（団体競技）の新チーム設立支援等を実施

(1) 企業・大学とSC21の連携強化及びSC21新規会員獲得支援

企業・大学に所属する社会人とSC21による混合チーム設立を支援

- ・ 補助対象 運動用具等経費（上限400千円）
- ・ 補助件数 20チーム

- (2) ワールドマスターズゲームズ2021関西大会の開催競技人口増加に向けた取組
SC21会員が、現在取り組んでいる競技とは別に、新たにワールドマスターズゲームズ2021関西大会開催競技（団体競技）に取り組む場合の新チーム設立を支援
- ・ 補助対象 運動用具等経費（上限600千円）
 - ・ 補助件数 30チーム
- (3) ワールドマスターズゲームズ2021関西大会の開催競技人口増加に向けた取組
SC21会員が、現在取り組んでいる競技で、新たにワールドマスターズゲームズ2021関西大会開催競技（団体競技）に取り組む場合のチーム設立を支援
- ・ 補助対象 運動用具等経費（上限500千円）
 - ・ 補助件数 50チーム

2 競技スポーツの推進

（公財）兵庫県体育協会及び各競技団体と連携して、選手発掘からトップアスリート育成までの系統的な指導体制を構築するとともに、本県の競技力向上に努め、オリンピックや国際大会等で活躍する選手を育成し、県民スポーツの推進に寄与する。

(1) 第2期新兵庫県競技力向上事業（世界にはばたけ兵庫プロジェクト）

(226,048千円)

2020年に開催される「東京オリンピック・パラリンピック」を見据え、トップアスリート層の拡大、ジュニア選手の発掘・育成、若手指導者の資質向上を図るため、選手の発掘からトップアスリートの育成までの系統的な指導体制の構築を目指す。

〔選手強化事業〕

① 未来のスーパーアスリート支援事業

国際大会や全国大会に出場する中高生・大学生等を擁する競技団体に選手強化方策等を提案させ、高い効果が期待できる取組に対して支援を行う。

○ スーパーアスリート養成

- ・ 事業内容 トップチーム・指導者を招聘しての合宿練習会 等

○ 医・科学サポート

- ・ 事業内容 フィジカルトレーニング、栄養学の直接指導等

○ 能力発掘・育成

- ・ 事業内容 競技人口が少なく、中学生から競技に取り組んでもトップを目指すことができる競技を対象に、競技転向型の発掘・育成を実施

② 重点競技強化事業

好成績が期待できる競技を特別強化競技に指定し、重点的に支援するほか、近年まで国体競技になかったオリンピック競技に対して支援する。

○ 特別強化対象競技（1314競技）

ウエイトリフティング、ゴルフ、柔道等

○ オリンピック対象強化競技（5競技）

自転車女子、ラグビー女子 等

③ 一般強化事業

41競技団体の競技力向上に向けた取組を支援する。

④ 選手サポートプログラム

大学研究機関と連携し、能力トレーニングの開発及び測定を実施する。

⑤ 指導者養成プログラム 等

高い競技実績を誇る国等へ指導者を派遣し、調査・研究を実施する。

⑥ 国民体育大会 団体競技強化プロジェクト

国体競技別総合成績で常時入賞している他府県の強豪チームとの強化試合・合宿や県内練習会を実施し、国体団体競技の強化を図る。

○ 対象競技団体

得点実績や戦績等を鑑み、団体競技において得点が期待できる競技種別

【いきいき茨城ゆめ国体結果】

天皇杯：13位 皇后杯：8位

〔選手育成事業〕

① タレント発掘事業等

○ ひょうごジュニアスポーツアカデミー（4年生以上の小学生対象）

- ・ 大学や関連スポーツ団体との連携による継続した育成、オリンピック選手等を講師とするスポーツ教室の実施等

② 育成・すそ野拡大事業

○ ジュニアスポーツ教室（小・中学生対象）

- ・ 才能ある選手を発掘・育成するための合同練習会の実施

③ ジュニア層を対象としたトップアスリート等による特別強化事業

将来、国体等で活躍が期待される中学生を対象に、トップアスリート等からの集中的なレッスンによる特別強化を実施

④ 指導者育成・広報等

若手指導者を中央競技団体等が主催する研修へ派遣

(2) 県民体育大会の開催及び国民体育大会への派遣（54,584千円）

| 名 称 | 実施時期 | 場 所 | 対 象 |
|--------------------|--|------------|--------|
| 第73回兵庫県民体育大会 | 4月～3月 | 県内 | 競技種目選手 |
| 第74回国民体育大会 | 9月7日(土)～16日(月) 9月28日(土)～10月8日(火) | 茨城県 | 県代表選手 |
| 第75回国民体育大会 冬季大会 | スケート・アイスホッケー競技 1月29日(水)～2月2日(日) スキー競技 2月16日(日)～19日(水) | 青森県 富山県 | |

(3) 兵庫県スポーツ優秀選手賞表彰

オリンピックや世界選手権等の国際大会、また、国内大会等において優秀な成績を収めた本県のスポーツ選手を讃える。

開催時期：令和2年2月（予定）

(4) 【拡】東京オリンピック・パラリンピック応援事業（17,536千円）

東京オリンピック・パラリンピック事前合宿を積極的に招致し、県のスポーツ振興や地域活性化等を推進する。（6市8ヶ国11団体）

① 情報発信

- ・ 招致パンフレット及びウェブサイト「兵庫県スポーツ施設案内」（日本語・英語・フランス語・中国語・ポルトガル語）を活用した情報発信

② 招致活動

- ・ 県、市町の姉妹・友好連携州・都市等を通じた働きかけ

- ・ 中央競技団体を通じた各国競技団体へのアプローチ
- ・ 本県ゆかりのアスリートやスポーツ有識者を通じた招致活動
- ・ 海外からの視察受入れ

③ 聖火リレー実行委員会の開催

全国都道府県を回る聖火リレーが兵庫県に2日間（2020年5月24日と25日）実施されるため、2018（平成30）年度から設置した兵庫県実行委員会を引き続き開催し、2020年の開催に向け、聖火ランナーの募集等の具体的な準備・運営を検討する。

④ フランス陸上競技の事前合宿の受入れ

2018年調印式で署名した協定書及び覚書のとおり、フランス陸上競技を受入れ、三木市と協力して交流事業を実施。

実施時期：2019年4月25日（木）～5月9日（木）

実施場所：県立三木総合防災公園陸上競技場

宿泊施設：西神オリエンタルホテル

参加者：フランス陸上連盟（監督コーチ27名、選手47名）

(5) 【新】ラグビーワールドカップ2019™公認キャンプ受入事業（29,716千円）

神戸市、淡路市と共同で、ラグビーワールドカップ2019日本大会の各国代表チームの公認チームキャンプ受入れの実施

① 受け入れる代表チーム

| 受入自治体 | 代表チーム | | |
|---------|---------|--------|-------|
| 神戸市・兵庫県 | スコットランド | | カナダ |
| 淡路市・兵庫県 | ロシア | | サモア |
| 神戸市(*) | イングランド | アイルランド | 南アフリカ |

* 組織委員会との協議によって追加内定

※ 各チームの滞在期間や使用する施設名については、チームのセキュリティ確保のため、ワールドラグビー・組織委員会からの依頼によって、非公開となっている。

② 県内での試合開催（神戸市御崎公園球技場（ノエビアスタジアム神戸））

| | | | |
|---------------|---------|---|------|
| 9月26日(木)19:45 | イングランド | 対 | アメリカ |
| 9月30日(月)19:15 | スコットランド | 対 | サモア |
| 10月3日(木)19:15 | アイルランド | 対 | ロシア |
| 10月8日(火)19:15 | 南アフリカ | 対 | カナダ |

(6) はばタンスポーツ基金活用事業（6,000千円）

「はばタンスポーツ基金」を活用した運営費の補助により、国際大会及び全国規模の大会を誘致し、本県の競技力の向上に資するとともに、県民に質の高い競技を観戦する機会を提供する。

3 第9回神戸マラソンの開催

（88,883千円：負担金68,883千円、ふるさとひょうご寄附金：20,000千円）

県民スポーツの振興を図り、震災の復旧・復興における経験と教訓、兵庫・神戸の魅力を国内外に発信するため、定員2万人の都市型フルマラソンとして「第9回神戸マラソン」を神戸市と共同で開催する。

(1) 大会概要

① 期 日

ア ランナー受付・EXPO 令和元年11月15日(金)、16日(土) 神戸国際展示場
イ 大会 令和元年11月17日(日)

9:00～スタート(ウェーブスタート) 16:00 終了

② テーマ 「感謝と友情」 キャッチフレーズ:「ありがとう」の42.195 km

③ 種 目 マラソン(42.195 km) (定員:20,000人) 制限時間:7時間

④ コース スタート:神戸市役所前
折り返し:明石海峡大橋の西方(垂水区西舞子付近)
フィニッシュ:ポートアイランド市民広場付近

⑤ 主 催 兵庫県、神戸市、兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、
一般財団法人兵庫陸上競技協会

⑥ 共 催 神戸新聞社、朝日新聞社

⑦ 企画運営 神戸マラソン実行委員会

⑧ 主 管 一般財団法人兵庫陸上競技協会

(2) 第9回大会の重点取組

神戸マラソン中期計画(第10回大会までの実施目標)に基づき、取り組みを進める。

① ランナー2万人に対応した安全・安心な大会運営の推進

ア ウェーブスタート(継続)

(目的) スタート時やコース途中の混雑緩和による選手の安全確保及び記録の向上

(内容) 直近の記録等に応じたスタートブロックへの適正配置

イ 警備・救護体制

(目的) テロ・災害・大事故、重症事案(心肺停止等)への対応

(内容) ①コース沿道のまちかど救急ステーション登録のAED活用(継続)

②緊急時対応訓練(継続)

② 挑戦するランナーを支援する出場枠・表彰の設定等 [チャレンジマインド]

ア 出場枠・表彰の設定

(ア) 神戸マラソン応援ランナー枠(先着350人→400人)(拡充)

(目的) 神戸マラソン中期計画(海外エリートランナー招聘・海外誘客等)の推進

(内容) 兵庫県又は神戸市に10万円以上のふるさと納税寄附者に出走権を進呈

(イ) その他の特別枠と表彰制度

- ・ シード枠 (約400人): 第8回大会成績上位者の参加促進(継続)
- ・ 年代別チャレンジ枠 (2,000人): 各年代のランナーモチベーションを向上(継続)
- ・ キラキラ女子ランナー枠(500人): 女性の参加促進(継続)
- ・ 神戸マラソン初出場枠(4,000人): 神戸マラソン初挑戦ランナーを応援(拡充)
- ・ 連続入賞者表彰制度 : 総合・年代別の3年連続入賞者を表彰(継続)
- ・ LAST SPURT CHALLENGRE : 上位ランナーの競技力向上を応援(新規)

イ ランナーマナーの啓発（継続）

（目的）大会の質の向上

（内容）①大会ホームページ、参加案内、EXPO、給水所等で啓発

②ランナーが携帯可能なハンドブックの配布

③大会当日スタート直前にボランティアによるマナーアップ隊の啓発

ウ エリートランナーの招聘（継続）

（目的）大会の質と国際的認知度の向上

（内容）国際陸上競技連盟（IAAF）のロードレースラベル「ブロンズラベル」を第8回大会で取得

③ 震災復興の教訓と感謝を国内外に発信 [ボランティアマインド]

ア スタートセレモニー（継続）

- ・ 黄色の手袋を着用してランナー「2万人で咲かせる『感謝と友情』のひまわり」
- ・ 合唱「しあわせ運べるように」

イ コース沿道（継続）

黄色の手袋や応援グッズを使ってボランティアや沿道応援者等「みんなで咲かせる『感謝と友情』のひまわり」

④ 大会の魅力化・ブランド化の推進 [ホスピタリティマインド]

ア 兵庫・神戸の特性を活かした企画（継続）

ファッション・ジャズ・グルメ・スイーツ等の発信強化

イ 大会認知度の向上に向けた広報の展開（継続）

- ・ 「神戸マラソン・シリーズイベント」に認定した地域のイベントやランニング大会等と連携した大会のPR
- ・ 大会ホームページ、ランニング専門誌、SNS等での効果的な広報

ウ 海外居住者の参加促進

- ・ 韓国の済州国際観光マラソン(5/26)にて、神戸観光局と連携して、現地で大会情報のPRを実施（継続）
- ・ 在関西領事館や兵庫県姉妹・友好提携州省等と連携し、「国際交流推進ランナー」を新設し、国際交流のさらなる推進を図るとともに、大会テーマ「感謝と友情」を国内外にPR（新規）
- ・ フォロワーの多い海外向けの民間SNS媒体へのPR写真・動画掲載を行い、東南アジア等向けに大会情報を発信（継続）
- ・ 海外のランニング専門誌、SNS等での効果的な広報（継続）
- ・ 海外居住者の応募を先着順とし、同時入金によりエントリーが確定する方式を採用（継続）

エ 「記録速報」ダウンロードサービス（継続）

大会当日に完走者全員が「記録速報」をPDF形式でダウンロードが可能

2 体育保健課

○ 体育・スポーツ活動の推進

1 基礎体力づくりの推進

(1) 「体力アップひょうご」サポート事業の実施 (5,705千円)

「運動プログラム」(DVD)の更なる活用を促進するとともに、小学校のニーズに応じた体力アップサポーターを派遣し、体育授業及び学校体育活動における体育・スポーツ活動を支援し、児童の体力・運動能力の向上を図る。また、県下児童生徒の体力・運動能力等の調査を行い、その実態を把握し、今後の施策の基礎資料を得る。

① 体力アップサポート専門家会議の開催 (7月・12月・3月)

② 小学校への体力アップサポーターの派遣

対 象：小学校 約70校

③ 「体力アップスクール表彰」の実施

対 象：体力向上に積極的に取り組み成果を上げた小・中学校10校程度

④ 体力・運動能力調査統計事業の実施

対 象：小・中・高校生 約30,000人

実施時期：令和元年5月～7月

2 学校体育の指導

学習指導要領の趣旨の徹底と指導方法の研究を深め、心身ともにたくましく、活力ある生徒を育成するため、年次計画により県立高等学校を訪問し、学校体育の実態把握と学校指導の充実を図る。

また、各種講習会を開催し、指導力の向上を図る。

(1) 県立高等学校訪問指導の実施

対 象：約30校

実施時期：令和元年5月～11月

(2) 学校体育に関する講習会、協議会の開催

| 名 称 | 実施時期 | 場 所 | 対 象 |
|------------------------------------|------------|-------------------|----------------------|
| 県立学校体育主任会 | 5月8日 | 兵庫県民会館 | 県立学校体育主任 |
| 中学校保健体育担当教員 連絡協議会 兼学校体育安全講習会 | 5月16日 | 兵庫県民会館 けんみんホール | 県内公立中学校 体育教員等 |
| 学校体育実技(武道) 認定講習会 | 7月31日～8月2日 | 県立武道館 | (柔道) |
| | 8月7日～9日 | 県立武道館 | (剣道) |
| 学校体育実技指導者講習会 | 10月9日～10日 | 県立総合体育館 | 幼・小・中・高校 保健体育担当教員 |
| 学校ダンス研究発表会 | 11月22日 | 高砂市文化会館 | 幼・小・中・高校 体育担当教員 |

(3) 幼稚園・小学校教員体育実技指導力向上事業

幼稚園教員及び小学校教員を対象にした体育実技講習会を実施し、指導内容及び指導方法の研修を行い、指導力の向上を図る。

実施時期：令和元年7月～8月

場 所：県内5ブロック単位

(4) 武道・ダンス指導者の養成等指導力の向上 (3,020 千円)

中学校学習指導要領を踏まえ、中学校教員を対象にした武道・ダンスの実技講習会を実施し、指導力の更なる向上を図る。

実施時期：令和元年8月

場 所：県立武道館

(5) 第56回県学校体育研究発表大会の開催

学校体育の実践発表を通して、県内各地区、各校種間の交流と連携を図ることにより、教職員の資質向上と体育・保健体育指導の理解を深める。

実施時期：令和2年2月4日

場 所：兵庫県民会館

(6) オリンピック・パラリンピック・ムーブメント展開事業 (6,824 千円)

本事業の「教育推進校でのオリンピック・パラリンピック教育」を展開し、学校の実情や実態に応じて、多面的な観点（する・みる・支える・知る）から、主体的にスポーツの価値を深め、規範意識の涵養、国際・異文化理解、共生社会への理解等に取り組み、オリンピック・パラリンピック教育等の体制整備を図るとともにその成果を広く情報共有する。

① 教育推進校の指定

指定校数 19校〔小学校及び中学校から12校、県立高等学校から7校〕

指定期間 指定のあった日から令和2年1月31日まで

② 事業経費について

予算の範囲内（13万円程度を予定）で事業に要する経費を委託費として支出する。
（諸謝金※、旅費、借損料、印刷製本費、消耗品費、会議費、通信運搬費、雑役務費、消費税相当額）

※ 諸謝金の上限：100,000円

兵庫県にゆかりのあるオリンピック・パラリンピアンに依頼。

3 運動部活動等への支援

(1) 運動部活動専門家会議の設置

指導力向上研修の内容や部活動指導員の派遣効果等を評価・検証する。

構 成：学識経験者、外部指導者、高体連・中体連関係者等

回 数：3回

内 容：専門的技術指導が困難な運動部顧問の実態や外部指導者の活用状況等について調査内容の検討や外部指導者派遣について評価・検証など

(2) 運動部活動活性化推進事業 (8,252 千円)

専門的な技術指導を受けられない生徒のために、部活動指導員を派遣し、運動部活動における生徒の技術向上や生徒が主体的に取り組むことができるようにすることにより運動部活動の活性化を図る。

さらに、専門的な技術指導が困難な運動部顧問を対象に、指導者養成に知見を有する上級指導者による指導力向上研修会を開催するとともに、指導法をまとめた動画を作成・発信することにより、指導力の向上を図る。

① 部活動指導員派遣事業 県立高等学校運動部へ約 55 名

② 指導力向上研修会

指導者養成に知見を有する上級指導者による研修会を実施するとともに、指導法をまとめた動画を作成・発信し、指導力の向上を図る。

(3) 中学校部活動指導員配置事業 (26,189 千円)

平成 30 年度から適切な練習時間や休養日の設定など部活動の適正化を進めている市町組合教育委員会を対象に、部活動指導員の配置に係る経費の一部を補助することで、顧問の支援を行うとともに、公立中学校における指導体制の充実を推進し、部活動の質的な向上を図る。

① 補助要件

ア 事業主体が、学校教育法施行規則に定める部活動指導員を雇用する事業であること。

イ 事業主体が、スポーツ庁策定の「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を遵守すること。

ウ 当該学校において、上記のガイドラインに沿った部活動運営がなされること。

エ 当該学校における教員の勤務時間（特に部活動指導従事時間）を客観的に把握して報告すること。

② 補助対象経費

ア 報酬・賃金、報償費で上限額は 1,600 円/時間（社会保険料（本人負担分に限る。）を含む。）

イ 交通費・旅費は補助対象外

③ 補助割合

ア 国 1/3、県 1/3、市町 1/3

イ 補助金交付要綱に基づいて、国の補助金認定額を補助する。

④ 補助期間

上記のガイドラインの趣旨を定着させるため、同一校かつ同一部活動での活用は、最長 3 年とする。

(4) 県立高等学校運動部指導者表彰

運動部活動の強化と活性化を図るため、運動部の振興発展に功績が顕著な指導者を表彰する。

対象：全国高等学校総合体育大会や全国高等学校選抜大会等に初出場及び著しく功績のあった運動部活動の指導者

実施時期：令和 2 年 3 月

(5) 総合体育大会の開催支援 (5,796 千円)

各種大会を援助し、スポーツの振興と競技力の向上を図る。

【大会等一覧】

| 名 称 | 実施時期 | 場 所 |
|-------------------------|-------------------|-----------------|
| 県 中 学 校 総 合 体 育 大 会 | 7 月 23 日～7 月 30 日 | 東 播 地 区 他 |
| 県 高 等 学 校 総 合 体 育 大 会 | 5 月 3 日～6 月 10 日 | 神 戸 常 盤 ア リーナ 他 |
| 全 国 中 学 校 体 育 大 会 | 8 月 17 日～8 月 25 日 | 近 畿 ブ ロ ッ ク |
| 全 国 高 等 学 校 総 合 体 育 大 会 | 7 月 24 日～8 月 20 日 | 南 部 九 州 ブ ロ ッ ク |

○ 児童生徒等の健康教育・安全教育の充実

1 保健管理・保健指導の推進

社会環境の変化に伴い、健康問題等も多様化し、その対応には一層の配慮が必要とされる。そこで、学校保健安全法に基づく幼児・児童生徒の保健管理や保健指導を徹底させるため、保健主事・養護教諭・学校医等を対象とした研修会・講習会を開催し、その資質や指導力の向上に努める。

一方、幼児・児童生徒の健康の保持増進を図るため、健康診断を実施し、実態把握に努め、適正な管理・指導を推進する。

(1) 県立学校訪問指導の実施

対 象：約 30 校

実施時期：平成 30 年 5 月～11 月

目 的：学校保健の実態を把握し、保健安全指導の充実を図る。

(2) 保健に関する講習会、研修会等の開催

| 名 称 | 実施時期 | 場 所 | 対 象 |
|---------------------|------------------------|--------------------|-------------------------------|
| 兵庫県学校保健主事・担当者研究協議大会 | 11 月 21 日 | あさご・ささゆり ホ ー ル | 小・中・高・特別支援学校 保健主事・学校保健担当者 |
| 兵庫県学校保健研究協議大会 | 10 月 24 日 | 宝塚市立文化施設 ソリオホール | 学校保健・学校給食担当者 |
| 養護教諭研修会 | 4 月～3 月 | 県 内 各 地 | 小・中・高・特別支援学校 養 護 教 諭 |
| 薬物乱用防止教室講習会 | 7 月 4・9 日 12 月 13 日 | 兵庫県学校厚生会館 | 小・中・高・特別支援学校 薬物乱用防止教育担当者等 |
| エイズ教育研修会 | 10 月 2 日 | 兵庫県民会館 | 小・中・高・特別支援学校 性 教 育 担 当 者 等 |
| 健康教育研修会 | 10 月 2 日 | 兵庫県民会館 | 小・中・高・特別支援学校 管 理 職、教 職 員 等 |
| 学校歯科保健研修会 | 9 月～3 月 | 県 内 3 会 場 | 学 校 歯 科 医 |
| 学校医研修会 | 9 月～3 月 | 県 内 4 会 場 | 学校医・学校保健担当者 |

(3) 児童生徒等の健康診断の実施 (56,717 千円)

児童生徒等の健康の保持増進を図るため、各学校において毎年 4 月～6 月の間に実施する。

(4) 学校健康教育強化事業 (2,667 千円)

① スクールヘルスリーダー派遣事業

心身の健康問題の複雑化・多様化により特別な配慮・医療機関等との連携を必要とする子どもに対応し、経験の浅い養護教諭の配置されている学校等を支援するため、経験豊かな退職養護教諭をスクールヘルスリーダーとして学校へ派遣する。

ア スクールヘルスリーダー（退職養護教諭）の派遣

- ・ 養護教諭がない学校への派遣
- ・ 経験の浅い養護教諭配置校への派遣

イ 協議会の開催

② 学校における現代的な健康課題解決支援事業

児童生徒の現代的健康課題に対応する体制づくりを推進するため、学校・家庭・地域の関係機関等からなる「課題解決支援チーム」を設置し学校保健の課題解決に取り組む。

ア 協議会の開催

イ 研修会等への支援チーム（専門医等）の派遣

③ 薬物乱用防止教室推進事業

薬物乱用防止教室講習会の開催

回数：3回

内容：薬物乱用防止教室の開催を推進するため、指導者に対しての講習会を実施

(5) がん教育総合支援事業（1,000千円）

学校教育全体の中でがん教育を推進するため、今後のがん教育のあり方について検討するとともに、がん教育の推進体制の構築を図る。

① がん教育に関する協議会の開催

構成：学識経験者、医師会代表、学校保健会関係者、県行政関係者

内容：がん教育の計画及び指導、推進校の取組検証及び次年度計画への反映

② 学校保健関係者に対する研修会の開催

③ 推進校の設置

対象：公立小学校・中学校・高等学校 各1校

内容：専門家等による講演会、講演のための事前授業、生徒意識調査等

2 安全教育の推進

交通安全、防犯等に関する指導力の向上を図るとともに、校舎内外の施設・設備・通路等の安全点検を徹底し、学校管理下における事故防止に努める。

(1) 学校安全総合支援事業（2,674千円）

児童生徒自身に安全に対する知識や能力を身につけさせる安全教育の充実や、防犯・交通安全などの学校安全管理体制の構築を図る。

① 希望する市町の学校安全推進のための取組を支援

実施箇所：1町及び県立学校3校

内容：学校安全に関する科学技術等を活用した取組を支援
学校安全への専門的指導を行うアドバイザーの派遣支援 等

② 研究成果発表会の開催

回数：各推進校・各推進市町1回

内容：学校安全推進に関わる取組の成果発表

③ 学校安全対策会議の開催

回数：2回

内容：各市町教委が実施している学校安全対策への情報共有

④ 学校安全教室講習会の開催

回数：2回

内容：学校安全教室の開催を推進するため、指導者に対し講習会を実施

3 学校における食育の推進と学校給食の普及充実

学校教育活動全体で取り組む食育を実践するため、「学校における食育実践プログラム（改訂版）」を基本に「食育ハンドブック」や「ひょうごの食べ物資料集」等を活用し、食育を推進する方向性や手法、具体例を示すための研修会を開催するなど、県学校給食・食育支援センター等とも連携しながら、全ての学校でのより充実した食育の推進を図る。

また、食事内容の多様化と望ましい食習慣の形成に配慮した学校給食の充実に努める。

(1) 学校教育活動全体で行う食育の推進（850千円）

① 食育実践推進に関する有識者会議の設置

教育活動全体を通じて行う食育実践方法を検討するとともに、その周知を図る。

② 学校給食衛生管理推進研修事業

学校における食育の「生きた教材」としての学校給食を充実させるため、学校給食調理従事者及び栄養教諭等の資質向上を目的とした研修会を実施する。

実施時期：令和元年7～8月

場 所：丹波地区・播磨東地区・播磨西地区・但馬地区・淡路地区

③ 「食育ハンドブック（中学校版）」の作成

中学校における食育の更なる推進を図るため、学校教育における食育の取組事例等を示した教職員用食育ハンドブックを作成する。

(2) 栄養教諭実務研修会の開催

実施時期：令和元年11月21日（木）

場 所：ひょうご共済会館

(3) 学校給食の指導及び調査

学校給食の実態を把握するとともに、学校給食の充実に努める。

学校給食施設の衛生管理等に関する状況調査を行うとともに、衛生管理の徹底が図られるよう改善指導を行う。（文部科学省「学校給食の衛生管理等に関する調査研究」）

(4) 県学校給食・食育支援センター（県体育協会）の運営指導

学校給食用物資供給体制の整備及び学校給食の普及充実に努めるとともに、市町・学校等の食育推進に対する支援を行う。

設置場所：兵庫県加東市山国 2007

(5) 米飯給食・地場産物活用の推進

週当たりの米飯回数において、全ての市町が3回以上となることを目標に米飯給食を推進するとともに、学校給食における地場産物の活用を推進する。

○ 県立学校体育施設開放の充実

地域のスポーツ・レクリエーション活動の場として県立学校の体育施設の開放を行う。

【学校体育施設開放予定校】

| 市町名 | 学 校 名 | 市 町 名 | 学 校 名 | |
|----------|----------|-----------|----------|-----------|
| 神戸市 | 御影 戸 | 姫路市 | 北条 業 | |
| | 神庫 台 | | 東播磨 磨別 | |
| | 神戸 甲 | | いなみ野 特別 | |
| | 神戸 | | 小野 | |
| | 星北 陵 | | 加東 社 | |
| | 北須 磨 | | 西脇市 | 西脇 脇工 脇北 |
| | 舞川 谷 | | | 多可 特別 |
| | 伊川 谷 | | 姫路市 | 多北 はりま 特別 |
| | 伊磨 友が | | | 姫路 東島 |
| | 須磨 庫工 | | | 姫路 別所 |
| 兵神 戸商 | 姫路 南干 | | | |
| 西神 戸高 特別 | 網路 西業 | | | |
| 視覚 特別 | 姫路 飾工 | | | |
| 尼崎市 | 尼崎 稲工 | 姫路 商 | | |
| | 尼崎 | 香夢 | | |
| | 尼崎 | 姫路しらさぎ 特別 | | |
| 西宮市 | 西宮 今 | たつの市 | | 龍野 北野 |
| | 西宮 甲 | | 龍野 生 | |
| | 西宮 | | 相生 生 | |
| | 西宮 香 | | 赤穂 特別 | |
| 芦屋市 | 芦屋 特別 | 福崎町 | 福崎 | |
| | 芦屋 | 神河町 | 神崎 | |
| 伊丹市 | 伊丹 西陽 | 上郡町 | 上郡 | |
| | 阪神 昆 | 佐用町 | 佐用 | |
| 宝塚市 | 宝塚 東 | 宍粟市 | 山崎 和 | |
| | 宝塚 西 | | 伊千 種 | |
| | 宝塚 北 | | 太子 | |
| 川西市 | 川西 明峰 | 篠山市 | 篠山 産業 | |
| | 川西 北陵 | | 篠山 東雲 | |
| 猪名川町 | 猪名川 | | 篠山 鳳鳴 | |
| 三田市 | 有三 田西 馬陵 | 丹波市 | 柏木 原上 | |
| | 北撰 三田 雲館 | | 氷上 特別 | |
| | 三田 祥原 特別 | | 豊岡 総合 | |
| | 上野ケ原 | | 日出 石特別 | |
| 明石市 | 明石 北南 | 朝来市 | 和田 山野 | |
| | 明石 西水 | | 和生 田山 特別 | |
| | 明石 清城西 | | 八但 馬農 | |
| 加古川市 | 加古川 西業 | 養父市 | 八但 馬農 | |
| | 加農 播工 | | 香美町 | |
| 高砂市 | 高砂 南 | 新温泉町 | 香村 住岡 | |
| | 高砂 陽 | | 浜坂 | |
| 播磨町 | 播磨 南特別 | 洲本市 | 洲本 実業 | |
| | 播磨 特別 | | あわじ 特別 | |
| 三木市 | 三木 木北 | 淡路市 | 淡路 | |
| | 三木 東 | 南あわじ市 | 淡路 三原 | |
| | 三木 | 計 | 124校 | |
| | 三吉 | | | |

○ 体育施設の整備及び管理運営（619,958千円）

青少年をはじめ広く県民の心身の健全な発達と健康で文化的な生活の向上に寄与するため、県民の体力づくりの場として、手軽に利用できる健康増進のための施設を運営し、その整備を図る。

また、市町における体育施設の整備促進を図るため、国の学校施設環境改善交付金の調整を行う。

（参考）所管施設一覧表

| 名称 | 所在地 (電話) | 施設の概要 | 宿泊定員 | 休館日 | 指定管理者 (指定管理期間) |
|-----------------------|--|---|----------|---------------------------|---|
| 県立総合体育館 | 西宮市鳴尾浜1-16-8 (0798-43-1143) | 大・中・小体育室、格技室、トレーニング室、宿泊室、研修室、ランニングデッキ | 人 400 | 年末年始、 月曜休館 (繁忙期は開館) | ひょうごウェルネス ライフグループ (H27～31) |
| 県立文化体育館 (神戸常盤アリーナ) | 神戸市長田区蓮池町 1-1 (078-631-1701) | 多目的ホール、小ホール、 研修室・会議室、トレーニ ング室、プール、体育室 | — | 年末年始、 第1月曜休館 | ミズノグループ (H28～32) 【ネーミングライツ 実施施設】 学校法人玉田学園 (H29～31) |
| 県立海洋体育館 | 芦屋市浜風町30-2 (0797-32-2255) | 管理棟、艇庫(2)、陸置 場、貸出用ヨット・カ ヌー・ボート | — | 年末年始、 月曜休館 (繁忙期は開館) | (公財)兵庫県体育協会 (H27～31) |
| 県立円山川公苑 | 豊岡市小島1163 (0796-28-3085) | 美術館、会議室、プール兼 スケート場、貸出用ポー ト、芝生広場 | — | 年末年始、 月曜休館 (繁忙期は開館) | 兵庫県体育協会 円山川公苑グループ (H28～32) |
| 県立奥猪名健康の郷 | 川辺郡猪名川町杉生 字奥山1-22 (072-769-0485) | 管理棟、体育館、ロッジ (5)、テニスコート(2)、 フィールドアスレチック、 イベント広場 | 182 | 年中無休 | 奥猪名みらい 創造プロジェクト (H28～32) |
| 県立武道館 (ウイंक武道館) | 姫路市西延末504 (079-292-8210) | 第一道場、第二道場、展 示・情報コーナー、トレー ニングルーム、研修室 | — | 年末年始、 月曜休館 (繁忙期は開館) | 兵庫県体育協会 県立武道館グループ (H28～32) 【ネーミングライツ 実施施設】 姫路ケーブルテレビ (H30～32) |
| 県立兔和野高原 野外教育センター | 美方郡香美町村岡区 宿791-1 (0796-94-0211) | 管理棟、宿泊棟(184人定 員)、体育館、食堂・浴室棟、 野外学習棟、運動広場、キャ ンプ場(第1～第4) 木の殿堂、自然とのふれあ いの森 | 644 | 年末年始休館 (木の殿堂は 月曜休館) | 香美町 (H31～33) |
| 県立弓道場 | 明石市明石公園1-27 (078-913-0501) | 近的10人立・遠的6人立射 場兼管理棟、あづち、矢取 道 | — | 年末年始、 月曜休館 | (公財)兵庫県体育協会 (H30～32) |
| 県立神戸西テニスコート | 神戸市西区玉津町森 友7-1 (078-924-4544) | テニスコート(7)、クラブ ハウス | — | 年末年始、 第1火曜休館 | (株)ITC (H28～32) |

3 ユニバーサル推進課

1 障害者のスポーツ活動等の推進

障害者スポーツの振興

「のじぎく兵庫大会」（第6回全国障害者スポーツ大会）を記念したスポーツ大会の実施等により、障害者スポーツの振興を図るとともに、障害者の社会参加と県民の障害者への理解を促進する。

(1) 第13回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会の開催（4,624千円）

令和元年度開催計画

| 開催期日 | 実施競技等 | | 参加者数 | 開催場所 |
|-----------|-------------------|-------------|------|------|
| | 競技 | 対象 | | |
| 4月28日(日) | 陸上競技 フライングディスク | 車いす使用者 | 135名 | 神戸市 |
| 5月12日(日) | 水泳 | 身体・知的障害者 | 124名 | 三木市 |
| 5月17日(金) | 一般卓球 | 精神障害者 | 078名 | 神戸市 |
| 5月18日(土) | 一般卓球 | 身体・知的障害者 | 171名 | |
| 5月19日(日) | ボウリング | 知的障害者 | 093名 | |
| 5月26日(土) | 陸上競技 | 身体・知的障害者 | 613名 | 三木市 |
| | フライングディスク | 身体・知的・精神障害者 | 407名 | |
| | ソフトボール | 知的障害者 | 074名 | |
| | サッカー | | 191名 | |
| 5月27日(日) | バスケットボール | 知的障害者 | 58名 | 神戸市 |
| | バレーボール | | 40名 | |
| 5月31日(金) | サウントテーブルテニス | 視覚障害者 | 66名 | |
| 11月22日(金) | バレーボール | 精神障害者 | | |

(2) 県立障害者スポーツ交流館等の運営（35,761千円）

障害者スポーツの振興拠点として「県立障害者スポーツ交流館」及び「ふれあいスポーツ交流館」を運営する。

① 県立障害者スポーツ交流館

設置場所：県立総合リハビリテーションセンター内

施設内容：体育室（バスケットコート2面）、トレーニングルーム、更衣室、屋内駐車場

② ふれあいスポーツ交流館

設置場所：県立西播磨総合リハビリテーションセンター内

施設内容：体育室、温水プール、トレーニングルーム、更衣室

**(3) 第19回全国障害者スポーツ大会「いきいき茨城ゆめ大会」への選手派遣・育成
(22,436千円)**

茨城県で開催される第19回全国障害者スポーツ大会「いきいき茨城ゆめ大会」に兵庫県選手団を派遣するとともに、派遣選手の競技力向上のため、育成強化を図る。

大会期間：令和元年10月12日（土）～14日（月）

開催場所：笠松運動公園陸上競技場ほか

委託先：公益財団法人兵庫県障害者スポーツ協会

派遣人数：165名（予定）

(4) 第31回全国車いすマラソン大会の開催（4,274千円）

車いすマラソンを通じて、体力の維持増進、社会参加意欲の高揚を図るとともに、広く県民の参加のもとに障害者に対する理解を深める。

開催日：令和元年9月29日（日）

開催場所：篠山城跡マラソンコース

委託先：公益財団法人兵庫県障害者スポーツ協会

出場者数：79名（フル21名、ハーフ55名、健常者オープン（ハーフ）3名）

(5) 「はばタンスポーツ基金」事業の実施（2,100千円）

のじぎく兵庫国体・のじぎく兵庫大会を記念して造成された「はばタンスポーツ基金」の運用収入を活用し、競技別全国大会への派遣及び競技団体設立等の支援を行う「はばタン障害者スポーツ振興事業」を実施する。

実績：26件（平成30年度）

(6) 「スペシャルオリンピックス支援・ひょうごトーチラン2019」の実施（500千円）

スペシャルオリンピックス活動への理解促進と、学生ボランティア等の障害者支援のための人材育成、全国大会に兵庫県から出場するアスリートの応援等を目的として、トーチランの開催を支援する。

開催時期：未定

(7) 「障害者スポーツ推進プロジェクト」の実施（40,935千円）

東京2020パラリンピック、ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催に向け、県内障害者スポーツアスリートの発掘や育成強化、障害者スポーツに関する啓発、環境整備等を推進する。

①（拡）ワールドマスターズ・パラリンピック推進事業

- ・（拡）参加型プレイベントの開催

しあわせの村スポーツフェスティバルやワールドマスターズゲームズ2021関西開催記念スポーツ競技大会の実施

- ・一般スポーツ団体との参画と交流
- ・障害者アスリートへの支援
- ・障害者スポーツ出前講座の実施

② 東京パラリンピック準備事業

- ・スーパーアスリート特別強化支援事業

- ・県パラリンピック聖火リレー実行委員会の設置

③ 障害者スポーツ推進拠点整備事業

- ・体育館等バリアフリー化

特別支援学校等の既存の体育施設を障害者スポーツ団体に開放する際に必要となる手すり・スロープ等を整備

- ・障害者スポーツ推進拠点支援員の設置

競技指導・助言、利用にかかる各種事務手続き